

4 騎士の跳躍

アルテンアールの伝説

- 「敵は門に火をつけたのか 皆のもの
水はもう使い尽くしたのか
では アール産赤ワインを一杯所望しよう
これがわしの生涯最後のワイン
- 「馬具を持って 馬に鞍を置け 5
戸口に馬をまわしてくれ
今宵 愛馬は否応なしの跳躍ぞ
前代未聞の跳躍ぞ
- 「戦いに明け暮れたわが生涯 10
飲むべきワインは 飲み尽くした
トリールからケルンまで探しても
わしほど 愉快的な生涯を送った騎士はない
- 「四十年におよぶ馬上の生涯 15
十字架の上で死ぬのなら
これまで乗ってきた あの古い木鞍こそ
わしの最期にふさわしい場所
- 「司祭に 民に 牧師に 見せようぞ 20
アルテンアールの鷹と呼ばれた騎士の最期を
老いた鷹を巣から炙り出したつもりでも
翼を広げ 飛んでみせよう」
- 明るい月夜に 騎士は馬具を身に付けて
戸口で馬にまたがって
アールワインを一息に飲み干した
前代未聞の飲みっぷり
- 老いた馬に拍車をかけて 手綱をしっかりと握ると 25
城壁を飛び越えた
崖を飛び越え 夜の闇へ
三百フィートの大跳躍

翌朝 遺体が谷底で見つかった
骨は粉々に砕けていた
さあ 皆さん お祈りを
勇敢な騎士の魂のために

30

(中島久代訳)